

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館報編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館  
〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp

## 事業中止相次ぐ!! 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染が全国的な広がりを見せる中、全国では、小中学校などの休校、様々なスポーツやイベントの中止、施設の休館など、感染拡大の防止策がとられています。

群馬県では県主催のイベントの中止または延期を決定。このことを受け、みどり市でも市主催のイベント等の中止または延期の方針を決めるなど拡大防止に努めています。

市の方針に基づき、笠懸公民館でも2月28日から3月26日までの主催事業や会議などの中止または延期を決定しました。

市民講座、公民館大会、いこいの広場をはじめ脳トレ講座、つまみ細工教室などの事業を中止。全4回予定していた初心者健康麻雀教室は2回で中止にしました。

職員は、各事業の講師や参加予定者への電話連絡ホームページでの周知、ポスターやチラシの撤去など対応に追われました。

また、年度末ということとで公民館運営審議会、地区公民館連絡協議会をはじめ多くの機関や団体の会議が予定されていましたが、すべてが中止となりました。

施設の開館状況では、図書館などの一部施設の休館もありましたが、笠懸公民館は通常どおり開館。

公民館の利用については団体・サークルの判断に任せるも、自粛の願いをされました。

また、利用する場合は、アルコール消毒やマスクの着用、体調管理に注意することなどを促し、感染拡大防止を図りました。



▲みどり市民吹奏楽団のみなさん

このような状況の中、日を追うことに利用に関する問い合わせや予約のキャンセル

### 一ごどもたちも大喜び いこいの広場

楽しんでいます。

昨年、日本レコード大賞を受賞した「パプリカ」が演奏されることを、事前にチラシで知らされていたせいか、子どもたちの姿も普段のいこいの広場より多く見られました。

演歌やピンクレディーのメドレーをはじめ、サウンドオブミュージック、銀河鉄道999などが演奏され、来場者は、懐かしい曲が流れると昔を思い出しながら体全体を動かし、曲に合わせていっしょになって口ずさんでいました。

セルも増えていき、毎日、公民館利用者が埋まるホワイトボードも空白の部分が目立っていきました。

感染の終息が見えずどこまで続くのか終わりが見えませんが、感染拡大防止に努める姿勢がうかがえます。

おにはそと

ふくはうち!!

お母さんと一緒教室 (節分)



▲ おにがやってきたー 逃げろ!

第15回お母さんと一緒教室は、2月5日(水)に節分の「まめまき」をしました。こどものお部屋で根岸先生が『せつぶんとおに』の紙芝居をしながら「節分」の話をしました。

その後、子ども達はおにのお面に色を塗ったり、まめの入れ物にシールを張ったりして「まめまき」の準備完了です。

芝生広場に移動し、新聞

紙を丸めて作った大きなまめ(ボール)を手に持って「おにはそとー ふくはうちー」と大きな声を響かせていました。

「おにのパンツ」などの手遊びをしていると、突然、赤おにが登場しました。びっくりして泣き出す子やお母さんに抱きつく子、勇敢にまめを投げつける子どもさままででしたが、みんなで力を合わせておに退治をしました。

おにが逃げると、みんな大喜び、大きな声で万歳をしました。

おに退治した後は、部屋に戻り、みんなで記念写真を撮りました。その後、お誕生会や山口先生による英語のリズム遊びを楽しみました。

根岸先生は「みんな成長したね。あと2回でこの教室も卒業です。家庭で子育てしているお母さんにこの



▲ 勇敢にたちむかう子どもたち

教室のことを教えてあげてくださいね」と話していました。

お母さん達は、泣いたり、笑ったり、怖がらずにまめを投げたりと色々な表情や反応をする子どもたちの姿を見て、笑顔が浮かべながら感慨深げでした。

この教室は、親子で色々な体験ができ、子ども同士のかかわりや親同士の情報交換の場にもなります。おすすめです。

お母さんと一緒教室 学級生募集!!

笠懸公民館では、子育てに励むパパママを応援しています。子どもと2人きりで過ごすことの多い方、子育てに関して不安や悩みを抱える方、公民館で楽しく活動しながら地域で仲間づくりをしませんか。

- ◇実施期間 令和2年7月～翌年3月 (月2回・全18回)
- ◇時 間 午前10時～正午
- ◇対象者 市内に在住または在勤の親と、令和2年4月1日現在で2歳～3歳(平成28年4月2日～平成30年4月1日生)の子どもで、継続的に参加できる方
- ◇内 容 同年代の子どもをもつ親同士の情報交換や仲間づくり、専任講師の支援による集団遊びの体験など。
- ◇申込方法 笠懸公民館窓口または電話、メールのいずれかにて申し込み
- ◇申込期間 令和2年4月16日(木)～5月10日(日)まで
- ◇その他 具体的な内容は開講前に講師と学級生の話合いで決めます。参加費は無料ですが、活動内容によって食材費等実費負担があります。



曜日	隔週 金曜日
会場	笠懸公民館 ほか
定員	親子20組(先着順)
申込方法	窓口または電話、電子メールのいずれか ～電子メールの場合～ 件名に「お母さんと一緒教室参加希望」と明記してください。 ①住所 ②氏名・ふりがな(親・子ども) ③電話番号 ④子どもの生年月日 ⑤子どもの性別 ※5月15日(金)までに返信がない場合はお問い合わせください。
	笠懸公民館メールアドレス kouminkan@city.midori.gunma.jp
申込み問合先	笠懸公民館 みどり市笠懸町阿左美1581-1 TEL 0277-76-2211



# 生涯学習大会開催

第14回みどり市生涯学習大会が2月16日(日)、笠懸野文化ホール(ハル)で開催されました。

この生涯学習大会は、生涯学習の重要性を再認識し、市民の主体的な活動をより豊かなものにしていくことを目的としています。

顕彰では、スポーツで優秀な成績を取めた個人に、みどり市教育委員会表彰が贈られました。受賞者は別表のとおりです。

生涯学習活動紹介では、東町で活動している「さわやかハーモニカクラブ」による発表があり、「緑の地平



▲さわやかハーモニカクラブのみなさん

線」など4曲を演奏。東町を流れる渡良瀬川の澄んだ水を連想するような水色のドレスをまとい、ハーモニカの心地よい澄んだ音が会場に響き渡っていました。講演会では、「つまづいたっていいじゃないか げんだもの く父・相田みつをを語る」と題して故相田みつを氏の長男で、相田みつを美術館館長の相田一人氏が講師を務めました。講師は、「息子の目からみた相田みつを」をテーマに、相田みつを氏の言葉や人生などについて語りました。相田みつを氏は、一つの詩を作るのに、相当なエネルギーと時間をかけていたそうです。あの独特の文字は、相手に気持ちや思いを伝えたい一心で、自分の文字で書いたのだと。活字では感心させら

れても感動させられない”との思いがあったと説明がありました。

また、いのちの詩人と称されていますが、その原点は戦争で兄を亡くし、戦争は絶対反対の精神からくるものだったそうです。

会場にはスクリーンが用意され、相田みつを氏の作った詩が映し出されると、参加者はその詩の言葉一つ一つをかみしめているようでした。

## みどり市教育委員会表彰者(別表)

(敬称略)

No	氏名・団体名	所属(学校・企業名)	表彰理由(成績・功績等)
1	国原 碧東 (クニハラ アホ)	國學院栃木 高校1年	日本ラグビーフットボール協会主催の「第24回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会」において、3位入賞。
2	清水 大我 (シミズ タカ)	桐生第一 高校1年	日本ラグビーフットボール協会主催の「第24回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会」において、3位入賞。
3	中田 健治 (ナカダ ケンジ)	—	「第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権(種目:M65 立五段跳)」において、3位入賞。
4	古川 靖晃 (フルカガ ユキアキ)	—	「第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権(種目:M25 800m)」において、2位入賞。
5	岩野 康平 (イワノ コウヘイ)	—	「第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権(種目:M25 400mH)」において、3位入賞。
6	岩澤 雅徳 (イワサカ マサトク)	—	「第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権(種目:M30 4x400mR)」において、3位入賞。

みどり市  
文化フェスティバル

# 笠懸地域文化祭 参加者大募集

笠懸地域文化祭は、笠懸公民館をはじめ、主に笠懸地域で活躍している、個人やグループ・サークルなどの活動成果を発表し、お互いの文化や活動にふれることで、交流を深め新しい学習活動を促し、地域文化の発展に寄与することを目的としています。



令和元年度  
笠懸地域文化祭

問い合わせ  
主催

笠懸公民館  
TEL : 0277-76-2211  
FAX : 0277-76-2836

日程 令和2年10月17日(土)~18日(日)

会場 展示部門: 笠懸公民館  
ステージ部門: 笠懸野文化ホール  
イベント部門: 笠懸公民館及び周辺屋外

参加資格 みどり市笠懸町に在住・在勤・在学する個人及び主な活動拠点が笠懸地域にあるグループ・サークル・機関・団体で、実行委員会に実行委員を選出し、文化祭の運営に協力できること。  
※全3回の実行委員会に出席できること。(要望)

申込方法 笠懸公民館、笠懸野文化ホール、笠懸図書館、市民体育館、岩宿博物館、みどり市役所笠懸庁舎に設置してある申込用紙に必要事項をご記入の上、

3月10日(火)から5月31日(日)までの間に笠懸公民館へ提出してください。

※複数部門に参加の場合は、部門ごとに実行委員を選出し、それぞれお申込みをしてください。



# SNSを考える

## いじめ防止ごども会議

みどり市教育委員会学校  
教育課は、1月24日(金)笠懸  
公民館交流ホールにて「S  
NSにおける発信について  
考え、ネットいじめの芽を  
つもう」をテーマに、みど  
り市小中学校いじめ防止ご  
ども会議を開催しました。  
子どもたちのSNSでも、  
ネットいじめが横行し、問  
題となつていきます。  
会議には市内の小中学校  
から2人ずつ、合計26人の  
児童生徒が参加。難しい課  
題にもかかわらず、熱心に  
話し合いました。

- ▼写真や動画を載せる時に  
気をつけることでは、  
・載せられる人のことを考  
え、その人の許可を取る。  
・犯罪に巻き込まれる恐れ  
があるため、個人情報ば  
かれない。  
・グループでのやり取りで、  
気をつけることでは、  
・短い文章で発信するため、  
本当に大切なことは誤解  
を生まぬよう、直接会っ  
て伝える。語尾や絵文字、  
略語などの使い方に気を  
つける。
- ▼文章の内容や言葉遣いで  
気をつけることでは、  
・顔が見えないから、相手  
の気持ちや、立場を考え  
て発信する。
- ▼発信する時間や、回数に  
ついて気をつけることでは、  
・回数や、時間を守る  
・自制心を持つ  
など、相手のことを考える  
貴重な示唆に富むものでし  
た。

今回の議題は、「部活仲  
間から発信されたSNSへ、  
コメントをアップする時の  
マナーを考える」というも  
のです。  
児童生徒達は、具体的な  
場面設定と共に、提示され  
たそれぞれの課題を4班に  
分かれて話し合い、課題に  
対し、次のようなマナーを  
提示しました。

最後に、講評にあたった、  
石井教育長は「ロボット、  
インターネット、AIな  
ど、世の中はどんどん便利  
になっている。しかし、こ  
のことは、悪い考えを持つ  
人にとつても、便利になっ  
ているということ。使い方  
を間違えると、大変なこと  
になります。

私達の社会は、どんど  
進化、便利になっていま  
す  
が、それを使うのは私達  
それを使うしつかりとした  
気持ちを持って歩む社会が  
できれば、そのような問題  
はなくなります。

さまざま変わりする社会が想  
定されているけれども、生  
きて行くのは私達です。学  
校へ帰ったら、今日、考え  
たことなど、勇気をもって  
実行して欲しい」と話しま  
した。

かさかけ公民館だより(1  
53号)の成人式の写真の  
学校名が逆になっておりま  
した。お詫びして訂正いた  
します。今後、編集には細  
心の注意を払っていきます。

## 笠懸公民館利用者の会定期総会及び 団体代表者会議のお知らせ

**5月14日(木)**

**時間：午後7時～**

**場所：笠懸公民館 2階視聴覚室**

～ 議題 ～

令和元年度事業報告及び収支決算報告

新役員の承認について

令和2年度事業計画案・予算案について

年度初めとなりますのでサークル・団体から  
1人～2人程度の出席をお願いします。



みんなで  
話し合おう！  
公民館や利用者  
の会について…

**\*\*\*利用者の会理事募集\*\*\***  
笠懸公民館利用者の会理事を募集して  
います。  
利用者の会関係事業(大掃除、懇談会  
等)の企画・運営をしてみませんか？

**主催** みどり市笠懸公民館利用者の会  
**問合せ** みどり市笠懸公民館



▲ 一瞬をとらえた写真を鑑賞

12月5日(木)から8日(日)まで、笠懸公民館ふるさとギャラリーで「フォト銀河・写学倶楽部合同写真展」が開催され約50点の作品が展示されました。  
会員の皆さんは、長く活動している人が多く、その経験を生かし、それぞれの目線で写した素晴らしい作

### フォト銀河・ 写学倶楽部 合同写真展

品が並びました。

早朝の霜柱、木立の間から差す一筋の光、朝もや、紅葉、桜等その時期だけしか見られない光景がたくさんありました。

同じように撮っても、なかなか納得のいく作品はできないそうです。

### 美しい阿左美 沼地域風景展

12月19日(火)から22日(木)まで笠懸公民館ふるさとギャラリーで「美しい阿左美沼地域風景展」が行われ、一般の部、子どもの部、賛助出品作品、全107点が展示されました。

一般の部では太田、桐生から、また子どもの部では笠懸だけでなく大間々の小学生からも出展があり、それぞれの部門で優秀作品には賞が贈られました。

## 華やかなギャラリー展示



▲ どれも上手に描けてますね

阿左美沼に映る桜・初夏の緑・紅葉・雪景色などの春夏秋冬の模様、笠懸東小・荒神山などの阿左美沼周辺の風景が描かれています。  
この美しい阿左美沼の風景をいつまでも残していきたいです。

### 笠懸書道協会 書道展

第19回笠懸書道協会書道展が2月4日(火)から9日(日)まで笠懸公民館ふるさとギャラリーで開催されました。  
笠懸地域の書道教室の先生とその生徒の32人の作品が展示されました。

作品は、れいしよ 隷書、近代詩文書、行書、草書、楷書と様々な書体がざらりと並び見応えがありました。



▲ 様々な書体が並びました

出品者一人ひとりに作品に対する思いを聞きました。それぞれ一字一字に思いがあり、力を入れるところ、抜くところ、作品の流れ、余白の使い方など本当に奥深いことにただただびっくりしました。  
来場者からは、「すごいね。何て書いてあるんだらうね」

「なかなか書けないよね」などの感心した声が聞こえてきました。  
時代はどんどん移り変わっていますが、日本の伝統文化を大切に次の世代へ繋いでいきたいですね。

### 笠懸公民館報編集協力員 大募集

『かさかけ公民館だより』を一緒に作りませんか！

笠懸公民館では、公民館活動をはじめとする学習情報や地域の身近な情報を発信し、市民の学習文化活動や地域づくりに役立てるため、公民館報を発行しています。

市民の声の広場として、市民の目線から地域の情報が豊かな館報を作るため、下記のとおり編集協力員を募集します。

- ◆ 募集人数 15人
- ◆ 応募資格 みどり市在住・在勤で月3回の会議への参加(主に夜間)や編集作業(取材・記事の執筆、校正など)が可能な方。※経験は問いません。
- ◆ 内容 笠懸公民館報の企画・編集、会議、取材・記事の執筆など
- ◆ 任期 令和2年4月1日～  
令和4年3月31日(2年)

# 地域からのたより

## 笑い声がびびく

二区



▲ VR体験 何がみえてるのかな!?

笠懸町第二区福祉部会では、区の協力を得て「第5回二区公民館で遊ぼう!!」を2月16日(日)に行い、たくさんの方が参加し、にぎわいました。

ホールでは軽スポーツのスマイルボーリングや輪投げ、ピンゴボードゲームをはじめ、今回初めてのスポ

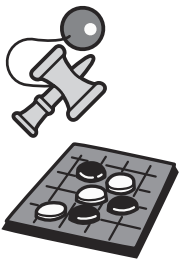
ーツ吹き矢もあり、参加者は教えてもらいながら楽しく取り組んでいました。

昔の遊びコーナーでは折り紙やベーゴマ、けん玉にチャレンジ。

他の部屋では将棋やオセロの対戦、また、大人たちはテーブルを囲んでの健康麻雀、ロビーでは話題のVR体験を楽しんでいました。甘酒や綿あめも用意され、館内は会話と笑い声が響いていました。

最後に抽選会もあり、子どもも大人も一緒になって盛り上がっていました。

人と人との付き合いが希薄になっていく昨今、地元の人たちがさらに仲良くなって、つながりが深まり地域が活性化できればいいですね。



## 避難訓練

六区



▲ 消火器を使った消火訓練

笠懸町第六区は1月26日(日)六区公民館にて避難訓練を行いました。年初の寒い中、約30人の参加がありました。

区民会議時に調理場より出火し、区民が屋外に避難するという想定で実施され、桐生みどり消防署員の指導の下、速やかな避難行動ができました。

また、参加者による消火器の訓練も実践しました。

昨年の台風19号の自主避難勧告がまだに鮮明に残る中での避難訓練だったので、「災害に備えるための訓練になった」と、家住福祉部会長より総評がありました。

今泉地区公民館長は「今後は災害時を常に念頭に置き公民館の改善を話し合い、地域住民の安全も補える公民館でありたいと願う一日となりました」と話していました。

## こえのひろば

### 投稿

#### 旅先での出会い

T・Y

「今年の冬は暖かいですねえ」そんな会話が飛び交う1月下旬、奥会津に出かけた。只見線応援団が企画した「ボンネットバスで行く冬の奥会津」の旅に参加。コースは会津坂下(はら)柳津く三島く金山町を巡り、只見線の会津川口駅から列車に乗り坂下へ戻るもの。

車窓から見る光景では、雪が少ないというのではなく田畑に見当たらないのだ。乾いた景色の中会津川口駅に着いた。地元の人と言葉

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめぎり毎月10日)

を交わせば「今年は雪が少なくて困った、田植え時に水不足にならなければいいのだが」と危惧していた。駅のショップで素敵な本に出会い買い求めた。金山町教育委員会が発行した「山のさざめき・川のとどろき」という写真集だ。自然と人との共生を示す写真が金銀をちりばめたように映し出されている。金山町に散らばるひとつひとつの集落が豊かな表情を見せていた。この旅での大きな収穫だった。







投稿

テクテクお城歩き (12)

「上田城」 歩遊人

長野県にある日本1000名城のひとつに上田城(他に松本城、松代城、小諸城、高遠城)がある。テレビドラマ「真田丸」で、その存在感を知らしめてくれた。1583年真田昌幸が千曲川の分流尼ヶ淵の河岸段丘に築いた城という。1585年、徳川家康に攻められたが城は落ちず、上田城の堅城ぶりを天下に示したという。1600年



▲ 上田城の東虎口櫓門

笠懸短歌サークル 二月例会より

灯台より竦みてのぞく冬の海岩礁打つ波白く泡立つからつ風吹きしまく中ブロッコリー穫らねばならぬ安値続きに暮れなづむ風の海原きらめきて小さき灯台青色点ず深しんと降る雪あかり小窓より想ひ巡らす幼き日々の温暖化の影響いかにと問はるるも畑にそを見る慧眼はなくひと息に読む楽しみを抱きつつまめに切り抜く新聞小説

上村 征子  
橋内 文夫  
久保田茂子  
近藤ふさ子  
関口 定夫  
平山 勇



コラム豆電球

「ブービー賞は最下位の賞だった」

ブービー賞というのがある。ゴルフを趣味にしている人ならご存知のとおり、下から数えて二番目の人に贈られる賞のことだ。しかし、このように下から数えて二番目に贈られるのは日本だけだということをご存じだろうか。

ブービー賞は英語のブービー・プライズからきている。「これを訳すと「最下位」。つまり、本来は最下位の人に贈られる賞なのだ。じつは、日本でも以前

はブービー賞は最下位の人に贈られていた。しかし、賞品が派手になるにつれ、狙ってわざと最下位になろうとした人が多くなつたため、故意になりにくい「最下位から二番目」に贈られるようになったというわけだ。

ちなみに、ブービーには最下位のほかに「間抜け」などという意味もある。この意味を知ってしまったら、あまり喜べないものだ。

また、最下位の人を最下位から二番目を作りだしたという意味で「ブービーメーカー」として表彰することも一般的になった。しかしこれも当然、日本だけのものである。

ちよつと一息



現在、新型コロナウイルス感染症が世界で拡大しています。日本も例外ではなく全国に拡大しつつあります。

今、この手記を執筆している最中、群馬県でも初の感染者がでたというニュースが飛び込んできました。

テレビ・新聞などで感染対策や注意について連日報道されていますが、日を追うごとに広がりを見せています。

政府も先手先手で対策を打ち、国をあげての感染予防を進めないと、この先どうなるのか心配ですね。

(仁)

